

参考情報として、本書収載の1日量記載の「処方例」に関し、1回量と1日量を併記したもの(1日量は()内に記載)を下記に示します。

p. 25 ■処方例1: 80歳男性

トリアゾラム錠 0.25 mg 1回2錠 (1日2錠)
1日1回 就寝前 14日分

■処方例2: 50歳男性

アカルボース錠 100 mg 1回1錠 (1日3錠)
1日3回 朝昼夕食後 14日分

p. 27 ■処方例: 内科, 30歳男性

フルルビプロフェン 40 mg 1回1錠 (1日3錠)
ロメフロキサシン 100 mg —— 1回1カプセル (1日3カプセル)
→ セフジニル 100mg 1回1カプセル (1日3カプセル)
1日3回 朝昼夕食後 3日分

p. 48 図2・10の「処方」

- 1) アムロジピン (ノルバスク錠 5 mg) 1回1錠 (1日1錠)
 フロセミド (ラシックス錠 20 mg) 1回1錠 (1日1錠)
 1日1回 朝食後 7日分
- 2) バラシクロビル塩酸塩
 (バルトレックス錠 500 mg) 1回2錠 (1日6錠)
 1日3回 朝昼夕食後 7日分
- 3) トリアゾラム (ハルシオン錠 0.25 mg) 1回1錠
 不眠時 5回分
 以下 余白

p. 50 ■処方例

- 1) プレドニゾロン (プレドニゾロン錠 5 mg) 1回2錠 (1日2錠)
 1日1回 朝食後 7日分
 プレドニゾロン (プレドニゾロン錠 5 mg) 1回1錠 (1日1錠)
 1日1回 昼食後 7日分
- 2) ニフェジピン (アダラートL錠 20 mg) 1回1錠 (1日2錠)
 1日2回 朝夕食後 7日分

p. 53 ■処方例：小児科，4歳

ワルファリンカリウム（ワーファリン錠1mg） 1回0.6錠（1日0.6錠）（粉碎）
1日1回 朝食後服用 7日分
1包が0.3gになるように乳糖で賦形する。

p.55 ■処方例：内科（入院），67歳（嚥下能力低下のためマーゲンチューブ使用）

ピモベンダン（アカルディカプセル2.5mg） 1回1カプセル（1日2カプセル）
1日2回 朝夕食後 3日分

p.58 ■処方例

1) アムロジピン（ノルバスク錠5mg） 1回1錠（1日1錠）
フロセミド（ラシックス錠20mg） 1回1錠（1日1錠）
1日1回 朝食後 7日分
2) バラシクロビル塩酸塩（バルトレックス錠500mg） 1回2錠（1日6錠）
1日3回 朝昼夕食後 7日分
3) トリアゾラム（ハルシオン錠0.25mg） 1回1錠
不眠時 5回分

p. 64 ■薬物相互作用が問題（併用禁忌）となる処方例：55歳女性（体表面積：1.4m²）

1) ワルファリンカリウム（ワーファリン顆粒0.2%）1回2mg（1日2mg）【原薬量】
1日1回 朝食後 21日分
2) カペシタビン（ゼロダ錠300mg） 1回6錠（1日12錠）
1日2回 朝夕食後 14日分

■処方例1（成分量での記載）：25歳女性

1) バルプロ酸ナトリウム（セレンカR顆粒40%）1回500mg（1日500mg）【原薬量】
1日1回 夕食後 30日

■処方例2（製剤量での記載+賦形）：60歳女性

1) ベタネコール塩化物（ベサコリン散5%） 1回0.267g（1日0.8g）
乳糖 1回0.233g（1日0.7g）
1日3回 朝昼夕食後 7日

p. 85 ■処方例：小児科，4歳男児，急性気管支炎に伴う喘鳴の改善と去痰

サルブタモール硫酸塩（ベネトリンシロップ0.04%）1回1.47mg（1日4.4mg）【原薬量】
ブロムヘキシン塩酸塩（ビソルボンシロップ0.08%）1回1.33mg（1日4.0mg）【原薬量】
1日3回 朝昼夕食後 3日分